I-O DATA

D3端子対応TVコンバータボード

TVC-D3/AGP2

取扱説明書

86563-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Intelは、米国インテル社の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

TVC-D3/AGP2 取扱説明書
2001.Jan.22　86563-01
発　行　　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 本書の見方

【第１章】内容物、動作環境等を確認します。

⇩

【第２章】パソコンや映像機器と接続します。

⇩

【第３章】ドライバをインストールします。

⇩

【第４章】ユーティリティを使ってみましょう。

⇩

【ふろく】必要に応じてご覧ください。

● 呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me、Windows 98、Windows 2000の総称

● 本製品の特徴

・さまざまなモニタに接続可能

３つの出力方法が選択できますので、D3入力のあるモニタ、ビデオ（NTSC）入力のあるモニタ、コンポーネント入力のあるモニタと、さまざまなモニタに対応できます。

・高品質映像

D3端子搭載のテレビなどを接続すれば、映像品質の劣化が少ない、非常に美しい映像をお楽しみいただけます。

※ D4、D5端子搭載のテレビと接続した場合でも、D3相当（最大解像度1280×1024）での表示となります。

・大画面モニタに表示

パソコンと大画面モニタを接続し、お店のショーウィンドウに置けばパソコン画像が動くポスターとして大活躍。また、ゲームなどは大迫力映像でお楽しみいただけます。

・３つの表示モードをサポート

シングルモニタ、マルチモニタ※、ミラーディスプレイの３つの表示モードをサポートしていますので、ビジネスやインターネットなどさまざまなシーンで威力を発揮します。また、みんなでデジカメ画像や、自作のコンピュータグラフィックを鑑賞するなど利用範囲は広がります。

※ Windows 2000には対応しておりません。

はじめに..... i
もくじ..... iv

第1章 1
.....
.....
.....

第2章 11
..... 12

第3章 15
..... 16
..... 24

第4章

..... 29
Windows Me/98 30
Windows 2000 41
..... 49
..... 52
..... 55

ふろく

..... 58
..... 63
..... 66

サポートセンターへのお問い合わせ..... 71
保証について..... 72
サポートソフトのバージョンアップ..... 73
修理について..... 74

MEMO

第1章

この章はTVC-D3/AGP2をご使用になる前に必ずお読みください。

2ページ

本製品の同梱構成品を確認してください。

7ページ

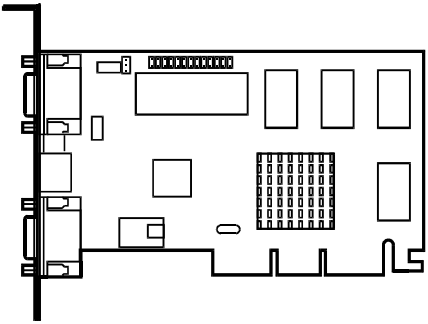
本製品の対応機種および対応OS等を説明します。

9ページ

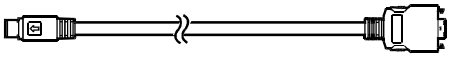
本製品を使う際の注意事項です。

● 同梱構成品

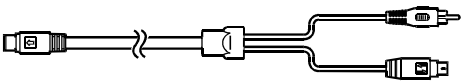
箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。



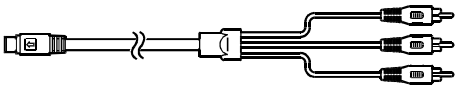
□ TVC-D3/AGP2



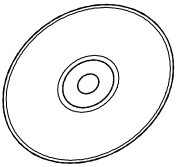
□ D3端子用ケーブル（2.5m）



□ S・ビデオ端子用複合ケーブル（2.5m）

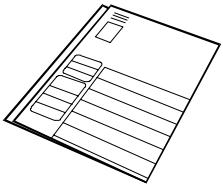


□ コンポーネント端子用ケーブル（2.5m）



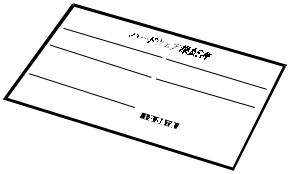
☐ TVC-D3/AGP2サポートソフト
（CD-ROM）

☑ 取扱説明書

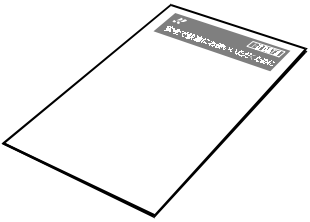


☐ ユーザー登録カード

☐ ハードウェアシリアルNo.シール



☐ ハードウェア保証書



☐ 『安全で快適にお使いいただくために』

万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。

● DirectXについて

DirectDraw、およびDirect3D対応アプリケーションをご使用になるには、DirectXをインストールする必要があります。また、いずれの場合でも、Windows 98をご使用の場合は、必ずDirectXをインストールする必要があります。
TVC-D3/AGP2サポートソフト内にDirectXランタイムモジュールが収録されています。

▼ DirectXセットアップ方法

TVC-D3/AGP2サポートソフト内の[DIRECTX]フォルダにあるDXSETUP.EXEを実行します。

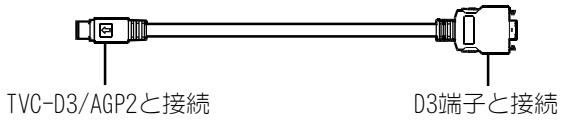
- **DirectXはサービス品につき、弊社ではサポート致しかねます。予めご了承ください。**
- **Windows Me、およびWindows 2000の場合は、DirectXをインストールする必要はありません。**

● ケーブルの用途と各部の名称

付属の各ケーブルの用途をご確認ください。

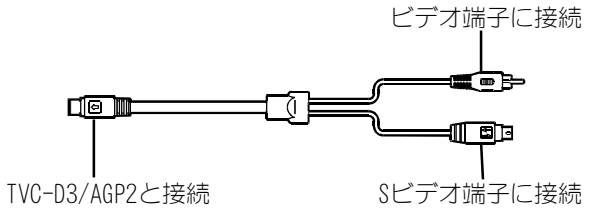
● D3端子用ケーブル

D3端子を持ったモニタへの接続に使用します。



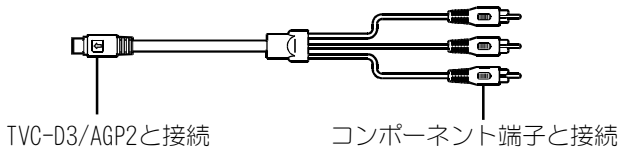
● S・ビデオ端子用複合ケーブル

S端子か、ビデオ端子を持ったモニタへの接続に使用します。



● コンポーネント端子用ケーブル

コンポーネント端子を持った機器に接続します。



● ユーザー登録について

1 「ハードウェアシリアルNo. シール」を所定の位置に貼ります。

添付のハードウェアシリアルNo. シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

2 ユーザー登録を行います。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

● **オンライン登録(http://www.iodata.co.jp/regist/)**

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。
上記のアドレスにある「オンラインユーザー登録」のフォームにて、ユーザー登録を行ってください。
オンライン登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

● **ハガキ登録**

ユーザー登録カードに、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。

ユーザー登録カードによる登録の場合、必要事項のご記入もれや必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

● 対応機種

非NLX仕様のAGPスロットを搭載した以下の機種

・NEC PC98-NXシリーズ
・DOS/Vマシン

対応機種の最新情報については、弊社ホームページかカタログをご覧ください。

● 動作環境

・CPU　：PentiumⅡ 233MHz以上
・メモリ：32Mバイト以上（64Mバイト以上推奨）
・CD-ROMドライブ：TVC-D3/AGP2サポートソフトインストール時に必要

● 対応OS

・Windows Me
・Windows 98（Second Edition含む）
・Windows 2000

※ Ver1.00のサポートソフトは、ディスプレイ省電力モード、スタンバイモード、休止状態モードに対応しておりません

● 対応API

・Direct3D・・・・ハードウェアアクセラレートはハイカラー/フルカラー時に動作します。
・DirectDraw・・・ハードウェアアクセラレートは256色/ハイカラー/フルカラー時に動作します。また、最大解像度は1600×1200となります。
・OpenGL・・・・・ハードウェアアクセラレートはハイカラー/フルカラー時に動作します。

● 対応モニタ

SONY	KL-50DX700※1、KV-28DRX7、KV-32DZ900、KV-29DRX5
松下	TH-28FP15、TH-33FP2、TH-29FP3、TH-28FP20、TH-32FP20、TH-36FP20、TH-42PM20※2
東芝	32ZX720※1、32ZP50、28ZP50、PD42W1J※2
SHARP	32C-HE1※1、32C-HE10※1、28C-PD1※2、32C-PD1※2、28C-PB1※2、32C-PB1※2
日立	全般

（2001年1月現在）

※1 D4端子に接続し、D3相当の解像度を表示可能。
※2 コンポーネント端子(YPbPr)を使用してください。

対応モニタの最新情報については弊社ホームページをご確認ください

● 本製品は非常に精密にできておりますので、以下の注意事項を守ってお使いください。
  ・ 高温、多湿、低温の場所に放置しないでください。
  ・ コネクタ部分に金属等を差し込まないでください。
  ・ 無理な加重をかけないでください。
  ・ 濡らさないでください。
  ・ 落とさないでください。
  ・ 分解や改造などをしないでください。
  ・ 煙が出たり、変な臭いがする場合は、ただちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブル等もコンセントから抜いてください。
    その後、必ず販売店までご連絡ください。

● 本製品使用時は大変熱くなります。使用直後の抜き差しの際、火傷をしない様、充分気を付けてください。

● 使用上の注意
  ・ 使用環境によっては画質や速度が低下する場合があります。

MEMO

第2章

この章では、本製品とモニタ等の映像機器を接続するまでを説明します。

12ページ

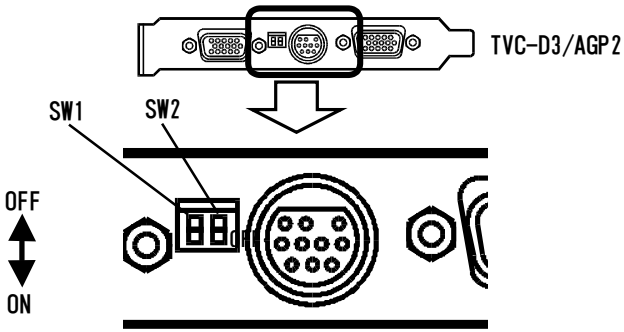
本製品とケーブル、モニタを接続します。

● スイッチを設定

本製品で、２台のモニタに対して映像を出力する場合、起動時の画面が表示される側を「プライマリモニタ」と呼びます。また、もう一方のモニタを「セカンダリモニタ」と呼びます。セカンダリモニタを決めたら、それに合わせて本製品のスイッチを下記の様に設定してください。

※ スイッチの設定は、パソコンの電源を入れる前に行ってください。

セカンダリモニタ	SW1	SW2
ビデオ（NTSC）入力のあるモニタ	OFF	OFF
通常のパソコン用ディスプレイ	ON	OFF
Sビデオ入力のあるモニタ	OFF	ON
コンポーネント入力か、D3入力のあるモニタ（出荷時設定）	ON	ON



スイッチは上図において、上がOFFで下がONです。

● パソコンに接続

1 **パソコン、および周辺機器の電源を切ります。**

2 **パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜き、パソコンのカバーを取り外します。**

3 **AGPスロットカバーを外し、本製品を装着します。**
AGPスロットカーバーのネジは本製品の装着に使います。

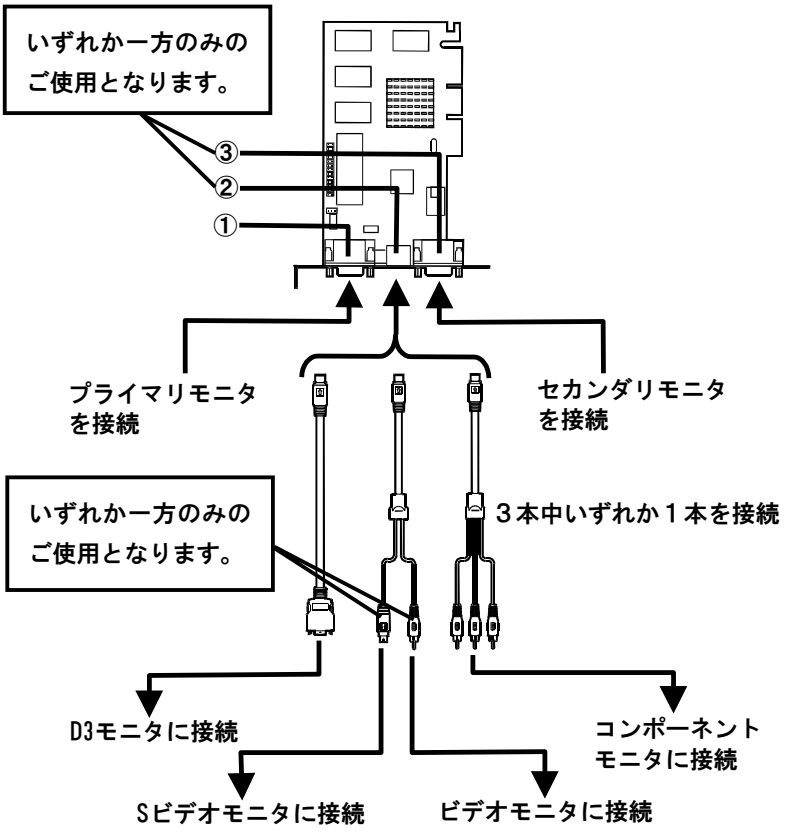
4 **パソコンのカバーを取り付けます。**

他のグラフィックアクセラレータボードや、内蔵VGAはあらかじめ取り外すか、無効にしてください。

● ケーブルを接続

次ページの接続図を見ながら、用途に合わせてケーブルの接続を行ってください。
ケーブルはしっかりと接続してください。
接続図の①、②、③の各コネクタは、ご使用のモードに合わせて下記のように接続してください。（モードについては49ページを参照）

- **シングルモニタ**・・・①か②に接続
- **マルチモニタ**・・・①と②か、①と③に接続
- **ミラーディスプレイ**・・・①と②か、①と③に接続



付属ケーブル以外のものをご使用になると、TVC-D3/AGP2を破損するおそれがあります。必ず付属のケーブルをご使用ください。

第３章

この章では、ドライバとユーティリティソフトのインストールを行います。
ユーティリティについては【第４章】で説明しています。

16ページ

インストール手順を説明します。

24ページ

インストールが正常に行われたか
確認します。

インストールは本製品がパソコンに取り付けられた状態で行ってください。
また、インストール手順はOSにより異なります。

Windows Meの場合 → 次ページ

Windows 98の場合 → 18ページ

Windows 2000の場合 → 21ページ

● Windows Meの場合

※ ここではまだTVC-D3/AGP2サポートソフトはCD-ROMドライブにセットしないでください。

1 Windowsを起動します。

自動的に[標準PCIグラフィックアダプタ（VGA）]がインストールされます。

2 下記の画面が出たら[はい]ボタンをクリックします。

Windowsが再起動します。

本製品のインストールが正常に終了すると次回起動時からは手順 *1*、*2*のような動作はしません。インストールを終了していないのに上記のようにならない場合は、本製品がAGPスロットに正しく挿入されているかご確認ください。

22ページ【インストールのつづき】へ進みます。

● Windows 98の場合

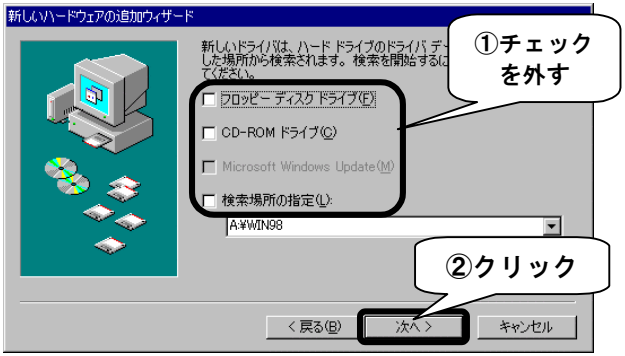
1 Windowsを起動します。

2 [次へ]ボタンをクリックします。

3 [次へ]ボタンをクリックします。

4 **[次へ]ボタンをクリックします。**

チェックがついている項目があれば、全て外します。



5 **[次へ]ボタンをクリックします。**

6 [完了]ボタンをクリックします。

7 [今すぐ再起動しますか？]と表示されたら[はい]ボタンをクリックします。

Windowsが再起動します。

本製品のインストールが正常に終了すると次回起動時からは以上のような表示はでません。インストールを終了していないのに以上のようにならない場合は、本製品がAGPスロットに正しく挿入されているかご確認ください。

22ページ【インストールのつづき】へ進みます。

● Windows 2000の場合

1 **Windowsを起動します。**

2 **下記の画面が出たら[はい]ボタンをクリックします。**

Windowsが再起動します。

本製品のインストールが正常に終了すると次回起動時からは手順2のような動作はしません。インストールを終了していないのに上記のようにならない場合は、本製品がAGPスロットに正しく挿入されているかご確認ください。

次ページ【インストールのつづき】へ進みます。

● インストールのつづき（各OS共通）

引き続き下記の手順を行います。掲載している画面は、Windows Me/98の場合の例ですが、Windows 2000でも手順は全く同じです。

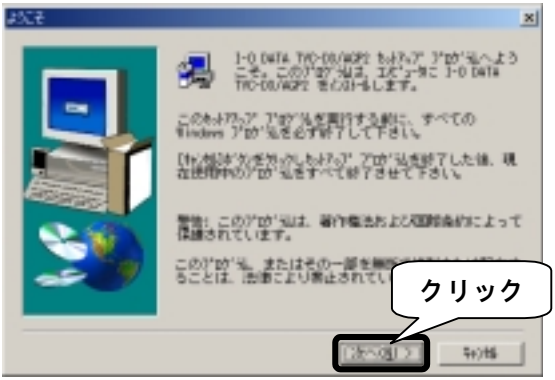
1 再起動後、CD-ROMドライブに「TVC-D3/AGP2サポートソフト」をセットします。

2 [マイコンピュータ]→CD-ROMドライブアイコンを順にダブルクリックします。

3 Windows Me/98の場合は[Win9x]フォルダを、
Windows 2000の場合は[Win2000]フォルダを
ダブルクリックします。

4 [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

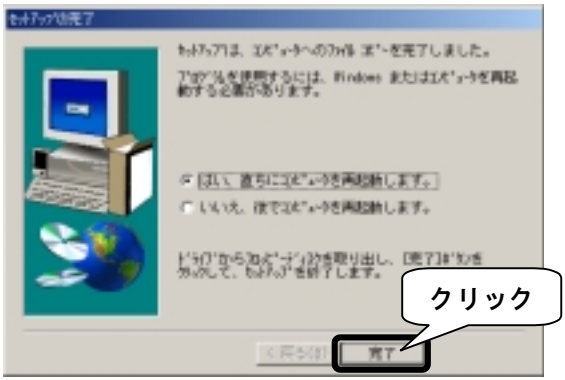
5 [次へ]ボタンをクリックします。



6 [次へ]ボタンをクリックします。

7 [完了]ボタンをクリックします。

Windowsが再起動します。



以上でインストールは完了です。
次ページの【2. インストール終了後の確認】を参照して、インストールが正常に行われたかどうかを確認してください。

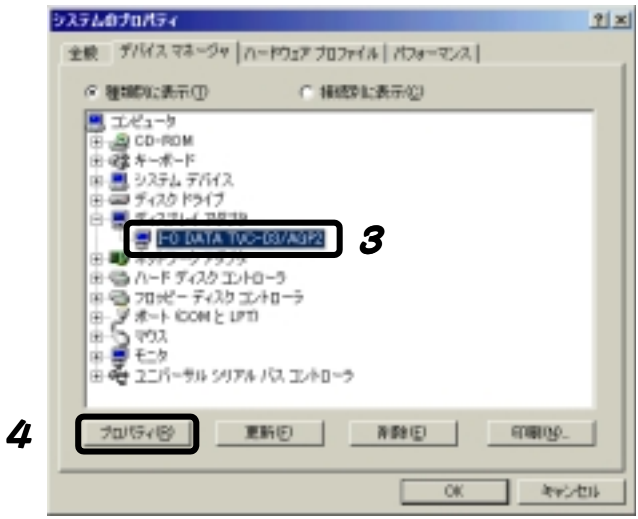
ここでは、インストールが正常に行われたかどうかを確認します。
Windows 2000の場合は、26ページをご覧ください。

● Windows Me/98の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をクリックします。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[ディスプレイアダプタ]をダブルクリックします。

3 [I-O DATA TVC-D3/AGP2]の頭に！マークや、×マークが付いていないことを確認します。



[I-O DATA TVC-D3/AGP2]の表示がない → 本製品がAGPスロットにしっかりと取り付けられているか、確認してください。

[I-O DATA TVC-D3/AGP2]の表示に！マークがついている → 【困った時には】60ページ参照

4 **[I-O DATA TVC-D3/AGP2]をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックします。**

5 **[リソース] タブをクリックし、競合するデバイスがないことを確認します。**

競合するデバイスがなければ正常です。

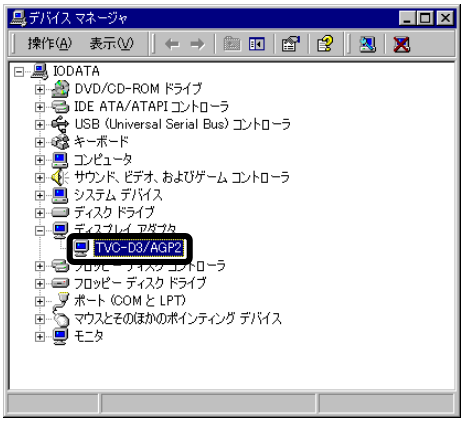
● Windows 2000の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]クリックし、[システム]アイコンをダブルクリックします。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3 [ディスプレイアダプタ]をダブルクリックします。

4 [TVC-D3/AGP2]の頭に！マークや、×マークが付いていないことを確認します。



[TVC-D3/AGP2]の表示がない → 本製品がAGPスロットにしっかりと取り付けられているか、確認してください。

[TVC-D3/AGP2]の表示に！マークや×マークがついている → 【困った時には】60ページ参照

5 **[TVC-D3/AGP2]をダブルクリックします。**

6 **[リソース] タブをクリックし、競合するデバイスがないことを確認します。**

競合するデバイスがなければ正常です。

MEMO

第4章

TVC-D3/AGP4サポートソフトのインストールが完了したら、ユーティリティがご使用いただけます。ユーティリティでは、表示に関するさまざまな設定が行えます。

Windows Me/98 30ページ

Windows 2000 41ページ

49ページ

52ページ

マルチモニタ時の、各モニタごとの設定方法を説明します。

55ページ

常駐ユーティリテで、簡単な画面の調整が可能です。

Windows Me/98

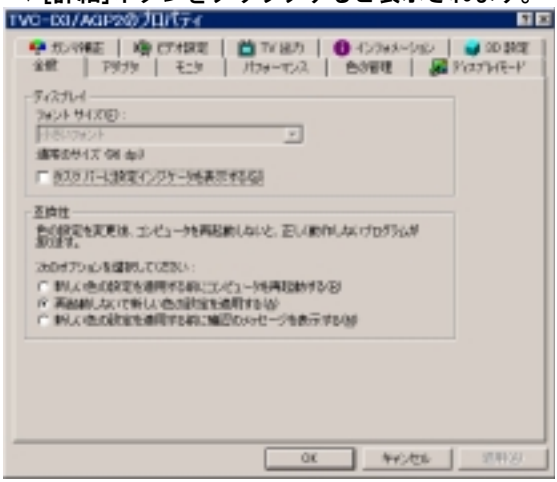
● ユーティリティの起動

1 **デスクトップ（壁紙部分）を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。**

2 **[設定]タブ→[詳細]ボタンをクリックします。**

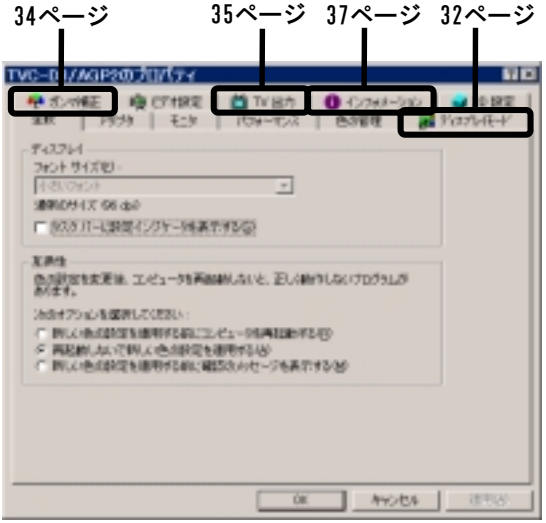
いくつかのユーティリティタブが追加されています。

▼[詳細]ボタンをクリックすると表示されます。



● ユーティリティタブ

下記の枠で囲まれた６つのタブを、それぞれ設定する項目に合わせてクリックします。



[TV出力]タブは、Sビデオモニタかビデオモニタを接続時に表示されます。

● ディスプレイモード

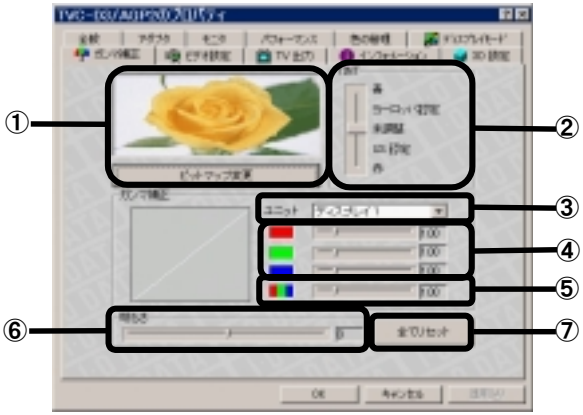
クリックすると[アドバンス設定]を表示します。

・アドバンス設定

項目	機能
①ドライバモード	表示モードを選択します。各モードの詳細については、49ページをご覧ください。 表示モードを変更し、[OK]ボタンをクリックすると、再起動を促すメッセージがでますので、指示に従って再起動してください。
②セカンダリーディスプレイデバイス	使用しません。
③帯域幅	メモリ帯域幅の割り当て。 マルチモニタモード時は、設定によって最大リフレッシュレートが変わります。

● ガンマ補正

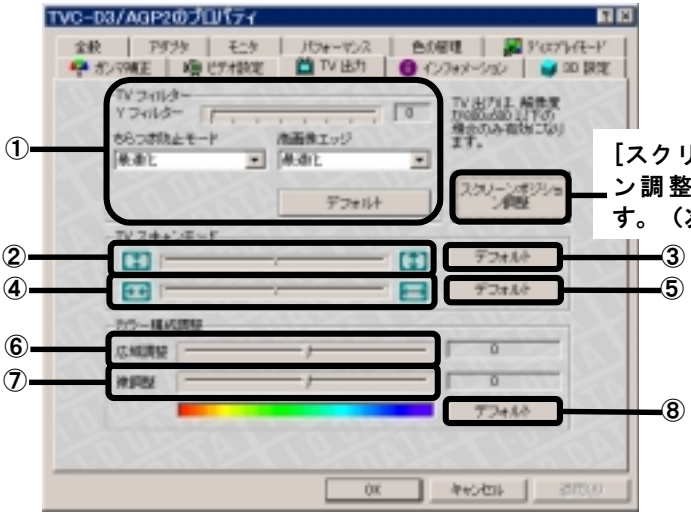
ガンマ補正を行います。



項目	機能
①ビットマップ変更	[ビットマップ変更]ボタンをクリックすると[ファイルを開く]が表示されますので、画像ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると選択した画像ファイルが壁紙になります。
②TINT	色合いを調節します。
③ユニット	調整対象のモニタを選択します。
④ガンマ補正	画面の明るさの中間を調節します。 初期値：1.00
⑤ガンマ補正（全部）	上の３つのスライダを同時に調節します。（上の３つのスライダが連動して動きます。） 初期値：1.00
⑥明るさ	明るさを調節します。 初期値：0
⑦全てリセット	全ての設定を初期値に戻します。

● TV出力

TV出力に関する設定を行います。設定後は、[適用]ボタンか、[OK]ボタンをクリックしてください。



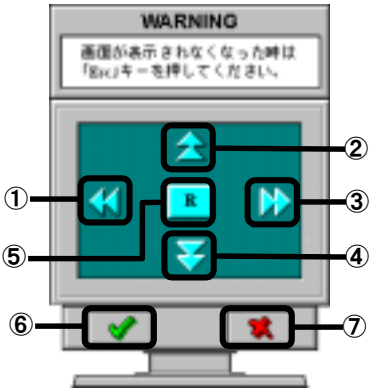
[スクリーンポジション調整]を表示します。（次ページ）

項目	機能
①TVフィルター	Yフィルター・・・鮮明さを調節します。左にいくほど鮮明になります。 ちらつき 防止モード ・・・ちらつきを調節します。[フィルターなし]、[弱]、[中]、[強い]、[最適化]の中からご使用のディスプレイに合うものを選択します。 高画像エッジ・・・輪郭の鮮明さを調節します。[フィルターなし]、[弱]、[中]、[強い]、[最適化]の中からご使用のディスプレイに合うものを選択します。 デフォルト・・・・TVフィルタ内の設定を初期設定にします。
②上下幅調節	画面の上下幅を調節します。

1．Windows Me/98の場合

項目	機能
③デフォルト	画面の上下幅を初期設定にします。
④左右幅調節	画面の左右幅を調節します。
⑤デフォルト	画面の左右幅を初期設定にします。
⑥広域調整	画面のカラー構成を広域調整します。
⑦微調整	画面のカラー構成を微調整します。
⑧デフォルト	広域調整、微調整を初期設定にします。

・スクリーンポジション調整



項目	機能
①表示位置調整（左）	画面表示位置を左に移動します。
②表示位置調整（上）	画面表示位置を上に移動します。
③表示位置調整（右）	画面表示位置を右に移動します。
④表示位置調整（下）	画面表示位置を下に移動します。
⑤デフォルト	全ての設定を初期値に戻します。
⑥チェック	[OK]ボタンと同じです。
⑦閉じる	「スクリーンポジション調整」を閉じます。

※ 画面表示が乱れた場合は、「ESC」キーを押してください。

● インフォメーション

項目	機能
①パッケージ	チップや、メモリ、ドライバに関する情報を表示します。
②ファイル	関係するファイルを表示します。

● ビデオ設定

項目	機能
①オーバーレイ	調節対象のオーバーレイを選択します。
②全てリセット	全ての設定を初期値に戻します。
③コントラスト	オーバーレイ画面のコントラストを調節します。
④明るさ	オーバーレイ画面の明るさを調節します。

・ミラーモード時に調節できるのは、オーバレイ画面１つのみです。
・モードにかかわらず、S端子、コンポジット端子に接続時も、調節できるのは、１つのオーバレイ画面のみです。

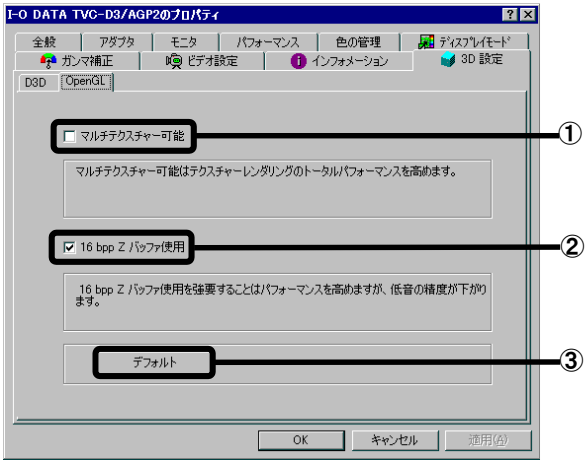
● 3D設定

・[D3D]タブ

Direct3Dに関する設定を行います。

項目	機能
①D3Dパフォーマンス	中央のプレビュー画面の描画速度（一秒間あたりの描画回数）を表示します。
②スピード・品質	描画速度を設定します。スピードを[ハイ]に近づけるほど品質は低下します。
③デフォルト	全ての設定を初期値に戻します。
④フルスクリーン	中央のプレビューが全画面表示になります。
⑤アドバンス	通常は設定しないでください。

・[OpenGL]タブ



項目	機能
①マルチテクスチャー可能	テクスチャーレンダリングの全体的なパフォーマンスを高めます。
②16bppZバッファ使用	16bit幅のZバッファ（3D表示時に、奥行きに関する情報を管理するメモリ領域）を使用します。
③デフォルト	全ての設定を初期値に戻します。

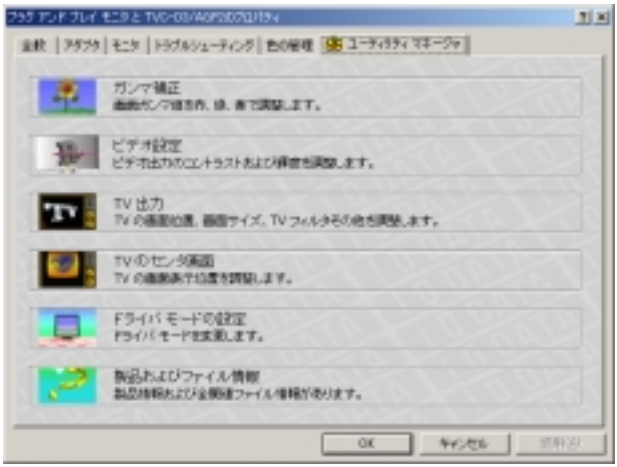
Windows 2000

● ユーティリティの起動

1 **デスクトップ（壁紙部分）を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。**

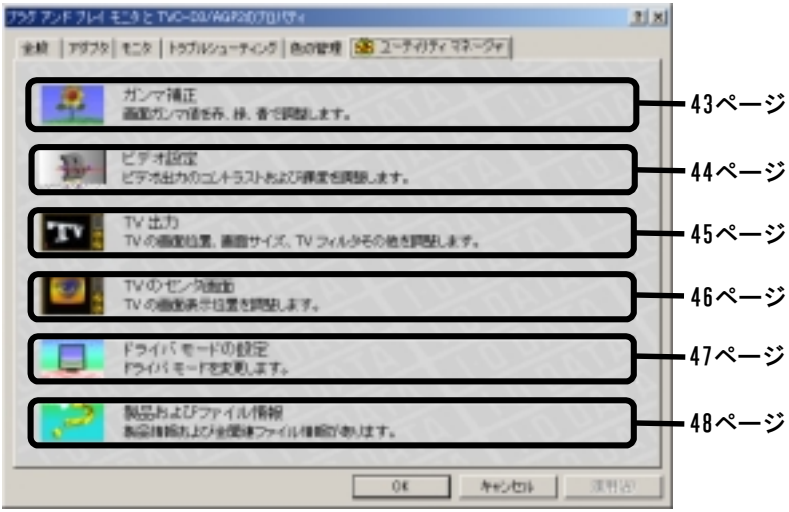
2 **[設定]タブ→[詳細]ボタン→[ユーティリティマネージャ]タブをクリックします。**

[ユーティリティマネージャ]はコントラストや、輝度、色調整、表示方法の設定など、さまざまな設定を行う際の、一番はじめの画面です。



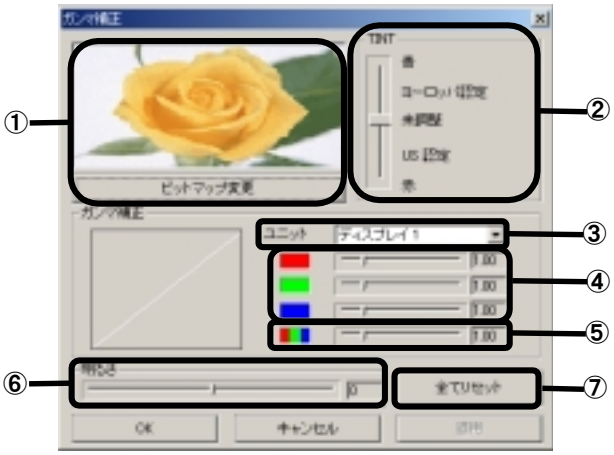
● ユーティリティマネージャ

下記の枠で囲まれた６つの部分は、それぞれボタンになっています。設定する項目に合わせてクリックします。



● ガンマ補正

ガンマ補正を行います。



項目	機能
①ビットマップ変更	[ビットマップ変更]ボタンをクリックすると[ファイルを開く]が表示されますので、画像ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると選択した画像ファイルが壁紙になります。
②TINT	色合いを調節します。
③ユニット	調整対象のモニタを選択します。
④ガンマ補正	画面の明るさの中間を調節します。 初期値：1.00
⑤ガンマ補正（全部）	上の３つのスライダを同時に調節します。（上の３つのスライダが連動して動きます。） 初期値：1.00
⑥明るさ	明るさを調節します。 初期値：0
⑦全てリセット	全ての設定を初期値に戻します。

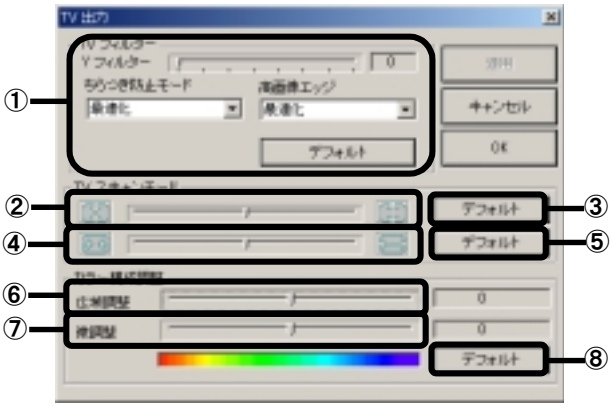
● ビデオ設定

項目	機能
①オーバーレイ	調節対象のオーバーレイを選択します。
②全てリセット	全ての設定を初期値に戻します。
③コントラスト	オーバーレイ画面のコントラストを調節します。
④明るさ	オーバーレイ画面の明るさを調節します。

・ミラーモード時に調節できるのは、１つのオーバレイ画面のみです。
・モードにかかわらず、S端子、コンポジット端子に接続時も、調節できるのは、１つのオーバレイ画面のみです。

● TV出力

TV出力に関する設定を行います。設定後は、[適用]ボタンか、[OK]ボタンをクリックしてください。

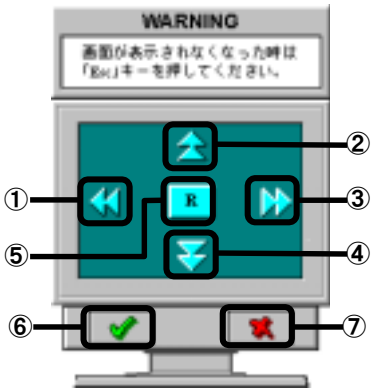


項目	機能
①TVフィルター	Yフィルター・・・鮮明さを調節します。左にいくほど鮮明になります。 ちらつき 防止モード　・・・ちらつきを調節します。[フィルターなし]、[弱]、[中]、[強い]、[最適化]の中からご使用のディスプレイに合うものを選択します。 高画像エッジ・・・輪郭の鮮明さを調節します。[フィルターなし]、[弱]、[中]、[強い]、[最適化]の中からご使用のディスプレイに合うものを選択します。 デフォルト・・・・TVフィルタ内の設定を初期設定にします。
②上下幅調節	画面の上下幅を調節します。

2．Windows 2000の場合

項目	機能
③デフォルト	画面の上下幅を初期設定にします。
④左右幅調節	画面の左右幅を調節します。
⑤デフォルト	画面の左右幅を初期設定にします。
⑥広域調整	画面のカラー構成を広域調整します。
⑦微調整	画面のカラー構成を微調整します。
⑧デフォルト	広域調整、微調整を初期設定にします。

● TVのセンタ画面



項目	機能
①表示位置調整（左）	画面表示位置を左に移動します。
②表示位置調整（上）	画面表示位置を上に移動します。
③表示位置調整（右）	画面表示位置を右に移動します。
④表示位置調整（下）	画面表示位置を下に移動します。
⑤デフォルト	全ての設定を初期値に戻します。
⑥チェック	[OK]ボタンと同じです。
⑦閉じる	「TVのセンタ画面」を閉じます。

※ 画面表示が乱れた場合は、「ESC」キーを押してください。

● ドライバモードの設定

項目	機能
①ドライバモード	表示モードを選択します。各モードの詳細については、49ページをご覧ください。 表示モードを変更し、[OK]ボタンをクリックすると、再起動を促すメッセージがでますので、指示に従って再起動してください。 ※ Windows 2000では「シングルモード」、「ミラーモード」のみ選択可能です。マルチモードは選択できません。
②セカンダリーディスプレイデバイス	使用しません。

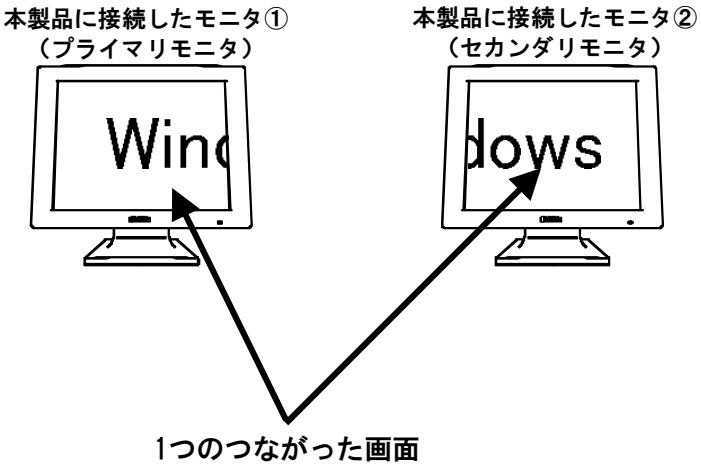
● 製品およびファイル情報

項目	機能
①パッケージ	チップや、メモリ、ドライバに関する情報を表示します。
②ファイル	関係するファイルを表示します。

各表示モードの特徴を説明します。

● マルチモニタモード

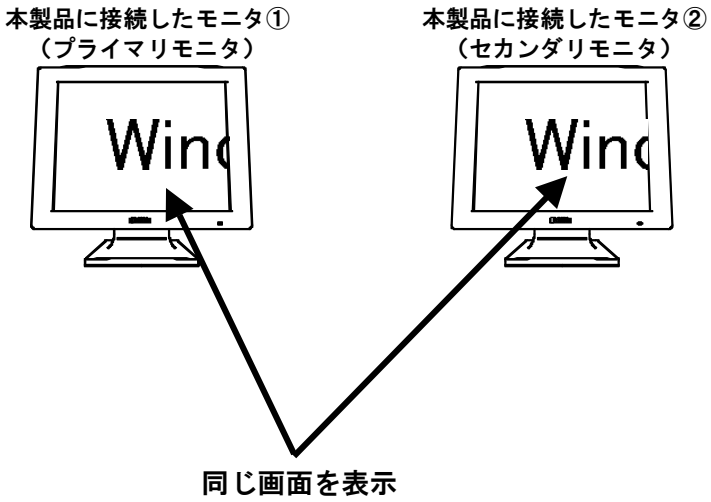
Windowsがサポートするマルチモニタ機能に対応したモードです。
TVC-D3/AGP2に接続された２台のモニタを使って、仮想的に1つの大きなデスクトップ画面を表示するモードです。



<マルチモニタモードご使用上の注意>
・セカンダリモニタ側では、タスクバーは表示されません。
・本製品のマルチモニタモードは、Windows Me/98のみで使用可能です。
・帯域幅（33ページ）の設定によって、最大リフレッシュレートが変わります。

● ミラーディスプレイモード

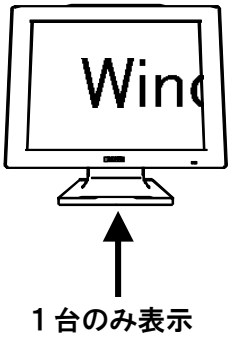
TVC-D3/AGP2に接続された２台のモニタに、同じ画像を同時に表示するモードです。



<ミラーディスプレイモードご使用上の注意>
D3端子経由での接続時でミラーディスプレイモードの場合、32bit設定にするとオーバーレイ表示できません。

● シングルモニタモード

TVC-D3/AGP2に接続されたモニタ１台にPC画像を表示。（セカンダリのみのシングルモードも可能です。）



マルチモニタモードでは、解像度や色数をモニタごとに設定したり、デスクトップのプライマリモニタとセカンダリモニタの配置を設定することができます。

本製品のマルチモニタモードは、Windows Me/98のみで使用可能です。Windows 2000ではご使用いただけません。

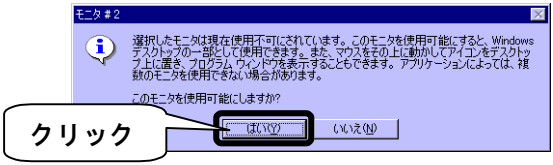
1 ［画面のプロパティ］を起動します。

デスクトップ（壁紙など）を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

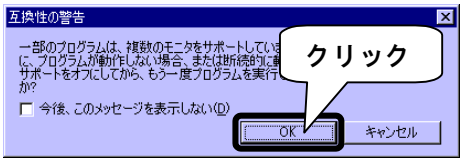
2 ［設定］タブをクリックします。

3 **設定したいモニタアイコンをクリックします。**

4 **［はい］ボタンをクリックします。**

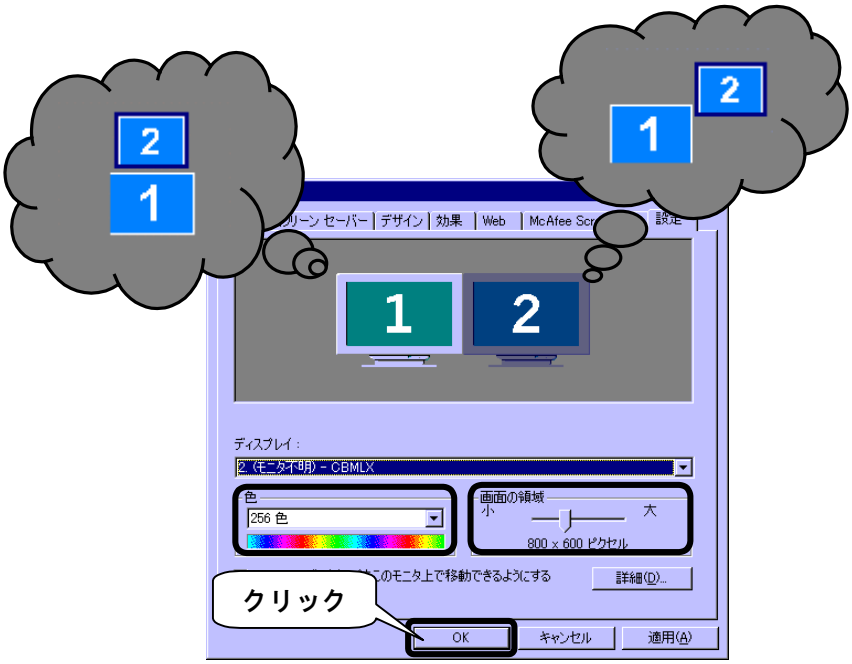


5 **［OK］ボタンをクリックします。**



6 **[画面の領域]、[色]、モニタの配置を設定し、[OK]ボタンをクリックします。**

モニタアイコンはドラッグして配置を決めます。

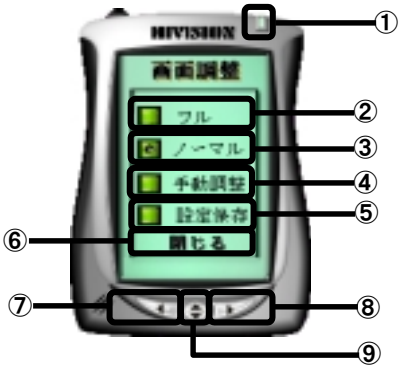


以上で設定は終わりです。

D3端子、およびコンポーネント端子搭載のモニタを使用時には画面を調整するための常駐ユーティリティがご使用頂けます。

タスクバーの常駐しているユーティリティアイコンをクリックします。

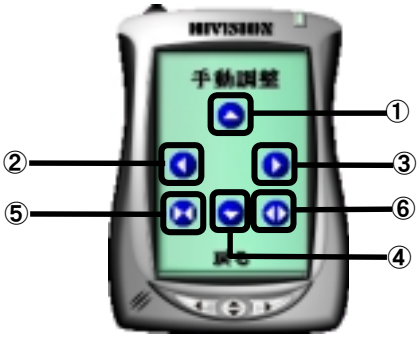
・メイン画面



項目	機能
①クローズボタン	常駐ユーティリティを閉じます。
②フル	すでにプリセットされている画面位置、およびサイズに設定します。
③ノーマル	すでにプリセットされている画面位置、およびサイズに設定します。

項目	機能
④手動設定	下記[手動設定]の画面になります。
⑤設定保存	設定を保存（適用ボタンと同じ）します。
⑥閉じる	常駐ユーティリティを閉じます。（クローズボタンと同じ）
⑦左ボタン	使用できません。
⑧右ボタン	使用できません。
⑨上下ボタン	フリッカフリー（ちらつき抑制）の度合いを調整します。

・手動設定画面



項目	機能
①上	画面を上に移動します。
②左	画面を左に移動します。
③右	画面を右に移動します。
④下	画面を下に移動します。
⑤横幅調整（－）	画面の横幅を狭くします。
⑥横幅調整（＋）	画面の横幅を広くします。

ふろく

必要に応じてお読みください。

58ページ

本製品のご使用中、異常があった場合にご覧ください。

63ページ

66ページ

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。
弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/support/qanda/index.htm）でも随時最新の情報をご提供しております。こちらもご利用ください。

画面の色がいつもと違う	59
ビデオ出力がされない	59
画面が乱れて完全に見えなくなった	59
画面が全く表示されない	60
マルチモニタモードでWindowsを起動すると、デスクトップ上のアイコン位置がずれる	60
インストール終了後の確認を行ったら、「ディスプレイアダプタ」下の本製品ドライバに！マークが付いている。	60

画面の色がいつもと違う

接続ケーブルが外れかかっていたり、接続ケーブルに異常のある場合があります。

接続ケーブルを確認してください。

ビデオ出力がされない

TVC-D3/AGP2をパソコンに挿入した後で、またはパソコン起動後にケーブルを接続している。

TVC-D3/AGP2にビデオ・Sビデオ用複合ケーブルを接続した後に、再起動してください。

スイッチ設定が正しいかご確認ください。（12ページ参照）

画面が乱れて完全に見えなくなった

ご使用の出力モニタでは使用できない画面モードを選択している、またはドライバのインストールが正常に行われなかったことが考えられます。

Windows Me/98の場合

Safeモード（Windowsのロゴマークが表示される前に[F8]または[Ctrl]キーを押し、[Safe mode]を選択します。）でWindowsを起動し[画面のプロパティ]の[ディスプレイの詳細]でデスクトップ領域を640×480、800×600などに変更してください。設定後、Windowsを再起動してください。

Windows 2000の場合

Safeモード（「Windowsを起動しています」と表示されている間に[F8]キーを押し、表示されるメニューから[セーフモード]を選択して起動します。）で[画面のプロパティ]の[ディスプレイの詳細]でデスクトップ領域を640×480、800×600などに変更してください。設定後、Windows 2000を再起動してください。

画面が全く表示されない

TVC-D3/AGP2が正しく取り付けられていない。

パソコンの電源を切ります。
TVC-D3/AGP2が確実に装着されているか確認してください。

スイッチ設定が正しいかご確認ください。（12ページ参照）

ケーブルの接続が正しいかご確認ください。（13ページ参照）

マルチモニタモードでWindowsを起動すると、デスクトップ上のアイコン位置がずれる

Windowsのマルチモニタ機能ではセカンダリモニタを、プライマリモニタに対して左側や上側に配置すると、アイコンの整列が正しく行われない場合があります。
これはWindowsの仕様によるものです。

インストール終了後の確認を行ったら、「ディスプレイアダプタ」下の本製品ドライバに！マークが付いている。

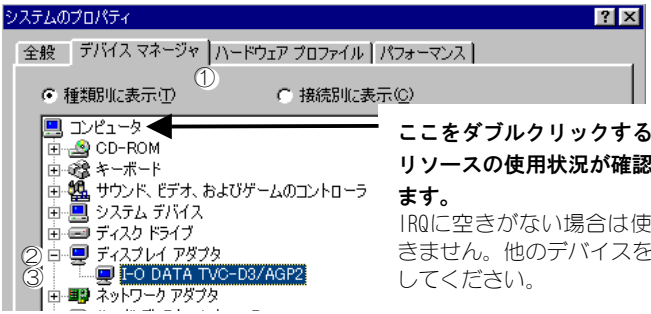
リソースが他の周辺機器と競合しています。（本製品のリソースはPnPシステムによる自動設定のため、変更できません。）

以下の処理を行ってください。

① **Windows Me/98の場合**：[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をダブルクリック→[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
Windows 2000の場合：[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をダブルクリック→[ハードウェア]→[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

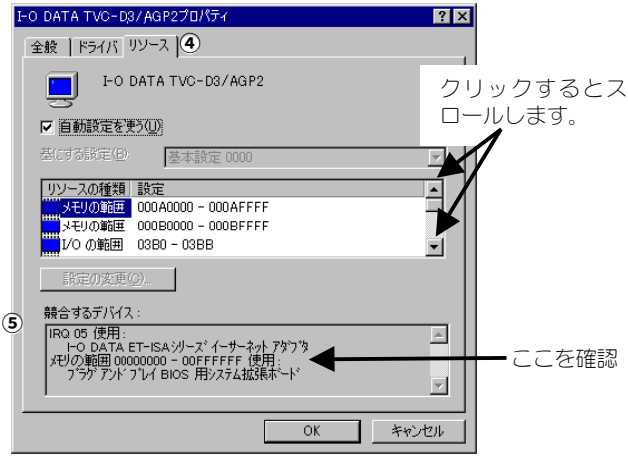
② [ディスプレイアダプタ]をダブルクリックします。

③ [I-O DATA TVC-D3/AGP2]をダブルクリックします。



④ [リソース]タブをクリックします。

⑤ [競合するデバイス]欄に表示されている競合リソースと、競合デバイスを確認します。



⑥ 競合している他のデバイスのリソースを、①～④と同じ手順で表示させます。

⑦ 以下のようにリソースを変更します。

[競合するデバイス]に[競合なし]と表示されている場合がありますが、⑤でIRQが競合していたので、[I]をダブルクリックします。右上の画面が表示されたら、[II]をクリックして[競合デバイスなし]となる別の値を選んでください。

⑧ [OK]ボタンを数回押して[システムのプロパティ]画面を終了すると、Windowsの終了確認画面が表示されるので、[はい]ボタンを押して、Windowsを終了します。（パソコンの電源をOFFにしてください。）

⑨ 必要があればリソースを変更した機器の設定をWindowsと合わせるため、ディップスイッチまたはジャンパスイッチで変更してください。（詳細は、設定変更したデバイスの取扱説明書を参照してください。）

ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)

米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング・システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

DPMS(Display Power Management Signaling)

VESA(Video Electronics Standards Association)が策定した、ディスプレイの節電機構をパソコン本体側から制御する為の規格。省電力機能は、ディスプレイのHSYNC、VSYNC（水平/垂直走査周波数）を制御することでReady, Standby, Suspend, Offの４つの節電レベルを可能とします。

インタレース表示

まず、画面の左上から奇数ラインだけを走査し、再び左上に戻り、今度は偶数ラインを走査するという走査方式です。１画面表示するのに電子ビームが２回走査する必要があります。この走査方式は、走査周波数が低いのでディスプレイの種類により画面がちらつく場合があります。チラツキは垂直解像度が高くなれば、よけいに目立ちますので、チラツキが多い場合は解像度を低くするか、ノンインタレースフリッカーフリー表示かノンインタレース表示を選びます。
ちなみに家庭用テレビもインタレース表示ですが、動画が中心となるためチラツキがあまり気にならないのです。

オーバーレイ

動画などのデータを、独立したウィンドウ内に表示する機能です。ハードウェア的に合成するので、Windowsの色数に関係なく常にフルカラーで表示できます。（Windowsの画面とは独立しているため、クリップボードなどへのコピーはできません。）

走査周波数

ディスプレイはドットの集まりです。ディスプレイは左上から右下に向かって電子ビームで必要なドットを光らせて画像を表示しています。「走査する」とは、電子ビームが動く、つまり、画像が表示されるという意味です。走査周波数とは、ちょうど電子ビームの動く速さを示す「メトロノーム」のようなもので、走査周波数が高いほど電子ビームが速く動く、つまり画像表示が速いということになります。走査周波数を低くすると画面のちらつきが目立つようになります。逆に走査周波数を高くすると画面のチラツキは目立たなくなります。

ドット

文字や図形を表現する基本単位となる点のこと。ピクセルとも呼ばれます。
パソコンで扱う文字や図形は、このドットの集まりで表現されます。

ノンインタレース表示

画面の左上から右下まで１ラインごとに全ラインを１度に走査する走査方式です。１画面表示するのに１回の走査ですむ代わり、電子ビームを速く動かす必要があります。そのため、インタレース表示より高い周波数が必要になりますが、インタレース表示よりはチラツキが少なくなります。

ノンインタレースフリッカーフリー表示

走査方法はノンインタレース表示と同じですが、走査周波数をさらに高くして発生するフリッカーを最小限に抑えて、快適な画面表示を行う方式です。ご使用のディスプレイがこの方式で表示可能なら、この方式を選択しましょう。

フリッカー

画面のチラツキをいいます。画面上のあるドットを光らせたとします。次にそのドットを光らせるまで光っていてほしいのに、その光が消えてしまったとします。すると、「光らせる→光らせる＝ずっと光っている」となるところが、「光らせる→消える→光らせる」となり、点滅したような状態になります。この点滅が、人間の目から見るとちらついている、つまり、フリッカーが発生しているということになります。

ここではハードウェアの仕様について記述します。

型番		TVC-D3/AGP2
グラフィックチップ		SiS社 SiS300 画像メモリ SDRAM32MB
アナログRGB信号		アナログRGB 0.7Vp-p※ ※ 使用するパソコンによっては0.7Vp-pより低い信号レベルになることがあります。 入力インピーダンス 75Ω
同期信号		TTLレベル（負極性/正極性）
NTSC信号		コンポジット出力およびS端子出力 1Vp-p 入力インピーダンス 75Ω
YPbPr信号		コンポーネント端子およびD3端子出力 0.7V p-p 入力インピーダンス 75Ω
使用する割り込み（IRQ）		PnPにより割り当てられた任意のIRQを1つ使用
使用するI/Oポート		3Cxh,3Dxh xは0～F
使用するメモリウィンドウ		16Mバイト可変（PnPより割り当てられたアドレス）
動作環境	電源	+3.3V +5V +12V
	温度	+0℃～+40℃
	湿度	20%～80%（結露なきこと）
	消費電流	+3.3V：2A（最大）、+5V：0.15A（最大）、 +12V：0.18A（最大）
外形寸法		87.0(D) x 149.2(W) x 14.92(H)mm （スロットカバー含まず。）
質量		112.5g（ケーブル含まず。スロットカバー含む。）

●アナログRGB解像度

	垂直走査周波数(Hz)	最大表示色数
640×480	60	フルカラー
	72	
	75	
	85	
	100	
	120	
	160	
	200※	
800×480	60	フルカラー
800×600	56	フルカラー
	60	
	72	
	75	
	85	
	100	
	120	
	160	
1024×576	60	フルカラー

	垂直走査周波数(Hz)	最大表示色数
1024×768	43	フルカラー
	60	
	70	
	75	
	85	
	100	
	120	
1280×720	60	フルカラー
1280×1024	43	フルカラー
	60	
	75	
	85	
1600×1200	60	フルカラー
	65	
	70	
	75	ハイカラー
	85	
1920×1440	60	ハイカラー

※ Windows 2000のみ

ミラーディスプレイモード、マルチモニタモードでは帯域幅割り当てやモニタの組み合わせにより一部画面モードが制限されます。

●Sビデオ出力

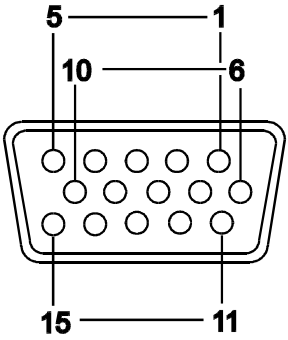
解像度	最大表示色数
640×480	フルカラー
800×600	フルカラー

●コンポーネント・D3端子出力解像度

	最大表示色数
640×480	フルカラー
800×480	フルカラー
800×600	フルカラー
1024×576	フルカラー
1024×768	フルカラー
1280×720	フルカラー
1280×1024	フルカラー

フルカラー：1,677万色（32bit）表示
　　1,677万色の24bit表示はありません。
ハイカラー：65,536色表示

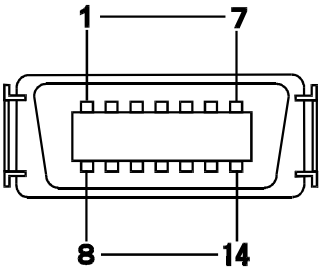
●アナログコネクタ形状・ピンアサイン



D-sub15ピンコネクタ

端子番号	信号名	方向	説明
1	AR	出力	アナログ赤色映像信号
2	AG	出力	アナログ緑色映像信号
3	AB	出力	アナログ青色映像信号
4	NC	-	未接続
5	GND	-	グラウンド
6	GND	-	アナログ赤色映像信号グラウンド
7	GND	-	アナログ緑色映像信号グラウンド
8	GND	-	アナログ青色映像信号グラウンド
9	NC	-	未接続
10	GND	-	グランド
11	NC	-	未接続
12	DDC DATA	入出力	シリアルデータ
13	HSYNC	出力	水平同期信号
14	VSYNC	出力	垂直同期信号
15	DDC CLK	入力	シリアルデータクロック

●D端子コネクタ形状・ピンアサイン（D3ケーブル）



D端子コネクタ

端子番号	信号名	方向	説明
1	Y	出力	輝度信号Y
2	Y_GND	―	輝度信号Yグラウンド
3	PB	出力	色差信号PB
4	PB_GND	―	色差信号PBグラウンド
5	PR	出力	色差信号PR
6	PR_GND	―	色差信号PRグラウンド
7	NC	―	未接続
8	NC	―	未接続
9	NC	―	未接続
10	NC	―	未接続
11	NC	―	未接続
12	挿入検出GND	―	端子番号14と接続
13	NC	―	未接続
14	挿入検出	―	端子番号12と接続

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「TVC-D3/AGP2」係　宛

■電話

電話番号	**本社**	**076-260-3646**
	東京	**03-3254-1036**
受付時間	**9:30～19:00 月～金曜日(祝祭日を除く)**	

■FAX

FAX 番号	**本社**	**076-260-3360**
	東京	**03-3254-9055**
宛先	**株式会社アイ・オー・データ機器**	
	サポートセンター「TVC-D3/AGP2」係　宛	

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

保証について

■保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。お送りいただいた製品を検査後、有償となる場合のみ往復ハガキにて修理金額をご案内致しますので、修理するか否かをご検討の上、往復ハガキにご記入いただきご返送ください。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→　「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「TVC-D3/AGP2」　サービス窓口　宛

電話番号　076-260-3663

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。

●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送り下さい。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  - ◇ 保証書がない場合
  - ◇ 保証書の所定事項が未記入の場合
  - ◇ 逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  - ◇ 落雷などの事故による破損の場合
  - ◇ 本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

■修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地　アイ･オー･データ第2ビル
株式会社アイ･オー･データ機器
「TVC-D3/AGP2」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･ 梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包でのご送付をお願いいたします。

■修理品納期問い合わせについて

受付窓口　「TVC-D3/AGP2」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。